health care report

Soleil

2019 8 それいゆ vol.236

イキイキ現場リポート「かがやき」より

M&C partner consulting

株式会社 M&Cパートナーコンサルティング

イキ!イキ!現場リポート

介護医療院「かがやき」

〒916-0025 福井県鯖江市旭町4丁目9-10
https://www.jujinkai.or.jp/kagayaki/

医療の必要な要介護者の長期療養・生活施設 介護医療院転換の実例

福井県鯖江市。医療法人寿人会グループに属する介護医療院です。母体は木村病院。
病院と「かがやき」との距離は車で3分ほど。平成30年の開設以来、ほぼ満床で推移しています。

かがやきの外観

介護医療院かがやき（院長 伊與曉洋 先生）

- 主治医の診察に基づき看護・介護・リハを一体的に提供。
- 1病棟40床の2病棟体制で運営。
- Ⅱ型介護医療院サービス費（Ⅰ）を算定
- 医師1.35名、看護・介護部17.65名、リハビリ4名、事務1名他職員含む計57名

個室の様子

前身は203床の病院

「かがやき」は元々病院でした。昭和58年に開業した旭ヶ丘病院が始まりです。その後、地域ニーズに合わせてリハビリに特化した病院→介護療養型老人保健施設という変遷をたどり、平成30年、介護医療院に転換しました。最大で203床だった建物を80床の介護医療院としているため、広々とした空間が特徴です。

もっとも気になる介護医療院のハード面

間仕切り家具とカーテンを使いプライバシー空間を確保しています。職員が知恵を出し合い、病院らしい無機質な白い扉に木目調のカッティングシールを貼ったり、壁に植物のシールを貼ったりして、温かな雰囲気を演出しようと工夫しています。ただどう見ても「病院」で、「住まいと言われてもピンとこない」というのが正直な印象でした。けれどそれだけに「あ、これでいいのか！」と安心します。居住空間であることを意識しすぎると、どうしてもコスト高になります。

どう見ても病院。なのに、あったか

利用者の生活様式に配慮し、看取りやターミナルケアを実施する体制を整えています。また、職員だけでなく地域のシニアの力（ちょこっと就労※）を取り入れ、常に賑やかな感じを演出しています。そのため、施設がまとう

お祈りのお部屋には手作りの仏壇が置いてありました。大きく立派な仏壇もあったそうですが、宗派が特定されるような仏壇であったため、該当しない人からクレームが来たそう。あえて手作りのものを置いています。

看取りの部屋。旅立ちが近づいた方でご希望がある方はこちらのお部屋に。ベッドはそのまま入れられるよう広いスペースになっています。

利用者様デイルーム

雰囲気は家庭的で好感が持てるものでした。お祈りをしたい人用のお部屋や家族等と共に過ごせる看取りのためのお部屋など、医療の場には決してないものもありました。

※ちょこっと就労 福井県が行う元気な高齢者と介護施設とのマッチングシステム。個々の生活スタイルや健康状態に合わせ、介護職員の補助を行う短時間就労を「ちょこっと就労」と名付けています。

清潔に関することや幸福感に結びつくものはコストを惜しまない

こちらでは、おむつ処理機「エコムシュウ」を導入されています。使用済みおむつを簡単にパックしてくれるマシーンです。特別なパックを使用しているため、おむつから放たれるあのいやな臭いを完璧に防ぎ、様々なウィルスの拡散も防止します。難点はフィルムのコストですが、嫌な匂いがあると本人だけでなく働く人の気持ちも滅入ります。働く人の表情が暗くなると、施設全体の雰囲気が沈んでしまいます。暗い雰囲気は「住まい」には厳禁。心豊かな時間を作るために働く人の心地よさを最優先します。

密閉パックされるため匂いは全く気になりません。オムツの担当者の方も仕事が楽になったと話してくださいました。

転換にあたり参考にしたい意識の切り替え

転換は施設も患者もこれまで通りであるのにサービスの内容は変えなければなりません。職員は、どのように気持ちを切り替えれば良いのでしょう。「かがやき」の場合は、病院から介護療養型老人保健施設に転換した経験があったのでスムーズだったそうです。ただ、病院から介護療養型老人保健施設に転換した時は、看護職が「生活の場で支える」というイメージが持てず苦しまれたといいます。

その時突破口となったのは、介護職員向けの研修会で、とくに、三好春樹さんのセミナーは大変参考になったとか。

看護職が介護職のセミナーで学ぶことに違和感がありますが、看護師が介護職の質の高さと果たしている役割の豊かさを目の当たりにし、さらに感動したことで、組織はいい意味で丸くなりました。そこから職員が一丸となって入所者の生活を支える流れができました。

介護医療院「かがやき」の平均介護度は4。ですが、施設は活気に溢れ、入居者の方の表情は輝きに満ちています。

（瓜生 千鶴）

「かがやき」の詳報はMCPCのホームページに掲載しています。
誌面に載せきれていない写真もありますので、ご確認ください。
https://mcpc.info/